



# アダプタ

---

ここでは、次の内容について説明します。

- [generic-email アダプタの使用 \(1 ページ\)](#)

## generic-email アダプタの使用

電子メールアダプタ (generic-email) は、SMTPサーバーを使用して電子メールを送信するための基本機能を提供することで、ワークフローにレポートの要素を追加します。1.0.0アダプタバージョンでは、送信アクティビティを使用して、ワークフロー定義内で定義されたメッセージを含む電子メールを送信できます。

## generic-email アダプタの取得

CWM 1.1 ソフトウェアパッケージをダウンロードしてください。  
cwm.v1.1.generic.email.v1.0.0.tar.gz ファイルは、パッケージ内に含まれています。

## アダプタのインストール

アダプタをインストールするには、オペレータガイドのアダプタのインストール方法に関する指示に従ってください。

## SMTP リソースとシークレットの作成

ワークフロー内での電子メールメッセージの定義の詳細に進む前に、リソースとシークレットを CWM に追加する必要があります。後でワークフロー内でそれらを参照する必要があります。

## シークレットの追加

---

ステップ1 CWM で、[管理 (Admin)] -> [シークレット (Secrets)] タブに移動します。

**ステップ2** [シークレットの追加 (Add Secret)] をクリックします。

**ステップ3** [新しいシークレット (New secret)] ビューで、次を指定します。

- a) [シークレット ID (Secret ID)] : シークレットに名前を付けます。このシークレット ID は、後でリソースとワークフロー内で参照する必要があります。例 : emailSecret
- b) [シークレットタイプ (Secret type)] : basicAuth を選択します。

**ステップ4** シークレットタイプを選択すると、[シークレットタイプの詳細 (Secret type details)] セクションに一連の追加フィールドが表示されます。次のフィールドに入力します。

- a) password : 送信者の電子メールアドレスにパスワードを指定します。
- b) username : 電子メールの送信元アドレスを sender@address.com のフォーマットで指定します。

**ステップ5** [シークレットの作成 (Create Secret)] をクリックします。

---

## リソースの追加

---

**ステップ1** CWM で、[管理 (Admin)] -> [リソース (Resources)] タブに移動します。

**ステップ2** [リソースの追加 (Add Resource)] をクリックします。

**ステップ3** [新しいリソース (New resource)] ウィンドウで、次を指定します。

- a) [リソース名 (Resource name)] : リソースに名前を付けます。後でワークフロー内で参照としてリソース ID を指定する必要があります。例 : emailResource
- b) [リソースの種類 (Resource type)] : generic.email.resource.v1.0.0 を選択します。
- c) [シークレット ID (Secret ID)] : 追加したシークレットの ID を指定します。
- d) 接続 :
  - [ホスト (Host)] : 使用する SMTP サーバーのアドレスを指定します。
  - [ポート (Port)] : SMTP ポートを指定します。暗号化された電子メール送信用の標準 SMTP ポートは、587 または 25 です。
  - [スキーム (Scheme)] : このフィールドは必須ではありません。
  - [タイムアウト (Timeout)] : このフィールドは必須ではありません。
  - [非セキュアを許可 (Allow Insecure)] : true を選択します。

**ステップ4** [リソースの作成 (Create a Resource)] をクリックします。

---

## ワークフローでの送信 アクティビティの定義

ワークフローでアダプタの送信アクティビティを使用する方法を学習します。

## アクティビティ参照の設定

CWM では、アダプタの送信アクティビティは、`generic.email.smtp.Send` と呼ばれます。ワークフローを定義する場合は、`functions` の `operations` パラメータの値として指定する必要があります。

```
"functions": [
  {
    "name": "smtp.send",
    "operation": "generic.email.v1.0.0.smtp.Send"
  }
]
```



(注) `name` パラメータ内で、後でアクションを定義するときに `refName` パラメータで参照するアクティビティ名を指定します。

## actions での電子メールメッセージの定義

ワークフローの状態の一部として電子メールを送信するアクションを定義できるようになりました。

アクションで使用可能な入力パラメータは次のとおりです。

フィールド	タイプ	ラベル	説明
from	string		送信者の電子メールアドレス
to	string	repeated	受信者の電子メールアドレスのリスト
cc	string	repeated	cc 受信者の電子メールアドレスのリスト
bcc	string	repeated	bcc 受信者の電子メールアドレスのリスト
subject	string		電子メールのタイトル
text	string		テキストとしての電子メール本文
html	string		html としての電子メール本文

次に示すように、`SendEmail` のサンプルアクションを定義する `arguments` 内で、使用可能なフィールドを `input` キー/値ペアとして使用します。

```
"states": [
  {
    "name": "EmailState",
    "type": "operation",
    "end": true,
    "actions": [
      {
        "name": "SendEmail",
        "functionRef": {
          "refName": "smtp.send",
          "arguments": {
```

```
    "input": {
      "to": ["recipient1@address.com", "recipient2@address.com"],
      "from": "sender@address.com",
      "text": "Hello, this is some placeholder email text.",
      "subject": "A test email from CWM"
    },
    "config": {
      "resourceId": "emailResource"
    }
  }
}
]
```

条件に基づいて電子メールアクションをトリガーする場合は、スイッチの状態を使用し、その中に `dataConditions` パラメータを定義できます。詳細については、[スイッチの状態に関するサーバレスワークフロー仕様のドキュメント](#)を参照してください。

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。